

山形市野草園おすすめお散歩コース 20250711 現在

(木陰で休憩しながら、ハーブ園やスワンヒルの庭まで行ってください)

軽くお楽しみいただけるおすすめ散策のコースを設定しています。

- アジサイコース (所要時間40分)
- ゆったり一周コース (所要時間70分)



橋老朽化のため通行止め う回路を作りました

「吉林の庭」の
フォトスポット
スイレンとコイ



オゼコウホネ



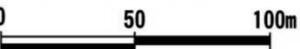
スカシユリ

スモークツリー



ヤマアジサイ

「ハーブ園」 現在開花に合わせて除草実施中
キャットミント、ラベンダー、オレガノ、ラムズ
イヤー、オルレアホワイトレース、リシマキアブ
ンクタータなど これから、いろんな種類のハー
ブが咲き出します



アジサイ



ガクアジサイ



エゾアジサイ



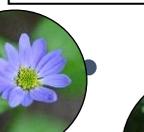
タカネマツムシソウ



キンコウカ



ミヤコワスレ



トビシマカンゾウ



オオバギボウシ



メタカラコウ



シライトソウ



ノリオツギ

オオトラノオ

シモツケ



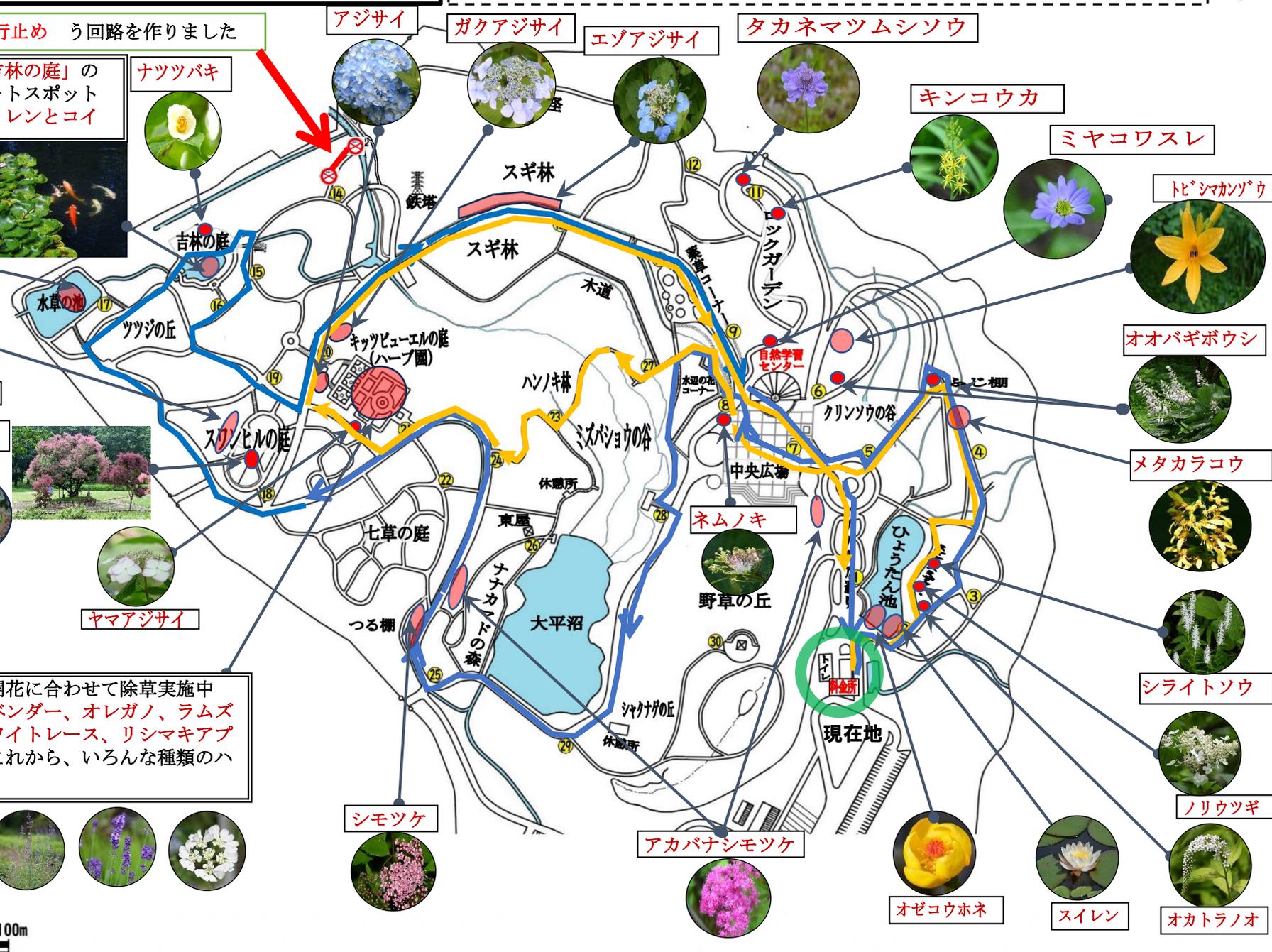
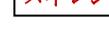
アカバナシモツケ



オゼコウホネ



スイレン



□ スマホ・パソコンなどをお使いの方へ

野草園を楽しんでいただくために、インターネット利用した、3つのサービス行っています。ぜひ、下記のQRコードを読み込み、野草園内の散策をお楽しみください。（注：スマホを見ながらの歩行は危険ですのでおやめください。）

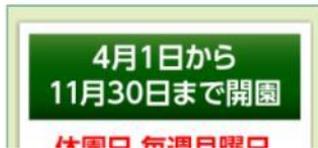
① 野草園のホームページにアクセスして、最新情報をご覧ください。（最新の開花情報、これからのイベント情報などが見られます。）

② 野草園マップにアクセスして現在地を確認できます。（園内で道に迷ったとき、おすすめ散歩コースを確認するときなどにお使いください。）

③ 野草園植物検索システムにアクセスして、植物についての知識を増やしましょう。（この植物、もっと詳しく知りたい。花の色や、実の形はと思ったときにお使いください。また、植物ラベルにQRコードが付いている場合は直接読み込むこともできます。）



④ インスタグラムも充実しています。最新の開花情報、これからのイベント情報などが見られます。



ここをクリックすると、植物検索システムの中に入れます。

昨年から、学名入り看板を作成しています。植物名の緑色の背景は「草本」、青色は「木本」、赤色は「有毒植物」になっています。「サクラ属&ウワミズザクラ属」はピンクの背景になっています。黒プレートは「木本」、白プレートは「草本」です。

ミスバショウ (サトイモ科)
学名 *Lysichiton camtschatcensis* (L.) Schott (Araceae)

シベリア東部、サハリン、千島列島、カムチャツカ半島と日本の北海道と中部地方以北の本州の日本海側に分布する。南限の兵庫県淡路市の加茂坂峠にも隔離分布している。約1万株生ずる野草園のシロヤナギ、ハシロウとは葉の長さ1~1.5m、幅50cm程度の大きな葉をつける植物で、ハシロウの仲間である。ミスバショウの葉も花後は約80cmにもなるのでハシロウと名がついた。花弁に見える白い部分は、仏炎苞(ぶつせんぼう)と呼ばれる葉が変化したもの。和名「水芭蕉(ミスバショウ)」は、ハシロウの葉に似て、水辺に咲くため。

開花前 花期 4月~5月上旬 花後の葉 冬芽

ザゼンソウ (サトイモ科)
学名 *Symplocarpus renifolius* Schott ex Tzvelev (Araceae)

北アメリカ東部および北東アジア(北東シベリア、中国北東部および日本)に分布する。関東地方北側に分布する。国外ではヨーロッパ、北アフリカにも広く分布している。特に川沿いや湿地など、水が多い場所によく見られる高さ20~30cmになる落葉高木。雌雄異株。若い木の根皮は滑らかで黄色で、成長になると灰色で深い縦裂の割け目が入る。葉は革質で、長さ5~11cmの長楕円状卵形から楕円状で先は尖り、縁には波状の鋸歯がある。裏面は濃緑色、葉裏は粉白色調は長く、葉が乾くと黄色になる。葉は緑色で葉裏は暗褐色になる。春に雄花は黄色い筒が目立つ花序をつけ、雌花は黄色いふつふつとした柱頭を持った花序をつける。葉巻、綿毛の付いた種子を飛ばす。和名「除穢草(ザゼンソウ)」は、花の色が憎が嫌うように見えるため。また、花を凍庫大瓶の底に置くと、タムシ(カビ)を繁殖させる。和名「水芭蕉(ミスバショウ)」は、ハシロウの葉に似て、水辺に咲くため。

開花前 花期 3月~4月 花後の葉 冬芽

シロヤナギ (ヤナギ科)
学名 *Salix dolichostylia* Seemen subsp. *dolichostylia* (Salicaceae)

北海道、本州の東北地方および北陸地方、関東地方北側に分布する。国外ではヨーロッパ、北アフリカにも広く分布している。特に川沿いや湿地など、水が多い場所によく見られる高さ20~30cmになる落葉高木。雌雄異株。若い木の根皮は滑らかで黄色で、成長になると灰色で深い縦裂の割け目が入る。葉は革質で、長さ5~11cmの長楕円状卵形から楕円状で先は尖り、縁には波状の鋸歯がある。裏面は濃緑色、葉裏は粉白色調は長く、葉が乾くと黄色になる。葉は緑色で葉裏は暗褐色になる。春に雄花は黄色い筒が目立つ花序をつけ、雌花は黄色いふつふつとした柱頭を持った花序をつける。葉巻、綿毛の付いた種子を飛ばす。和名「白柳(シロヤナギ)」は、葉の裏面が白く輝く様子から、この名前が付けられた。

花期 4月

ヤマブキソウ (ケシ科)
学名 *Hylomecon japonica* (Tunoda, Prantl et Kundig) (Papaveraceae)

本州、四国、九州に分布する。国外では中国に分布する。山野の下の下生える多年草。茎葉は黄色い汁を分泌し、葉は濃黄白色で、長さ30~40cm。ヤマブキソウは花の大きさに対し、茎葉は花の茎より、細く出葉は奇数羽状複葉で若い葉が丸く、小葉は先は尖り、縁は切れ込みと細かい鋸歯がある。茎、葉腋に短い黄色い花序をつける。葉色の葉片は2層あり、花の咲く前に落ちる。結しは多数。道に生え、葉裏は濃黄白色、表は黄白色。茎の葉は奇数羽状複葉の形が特徴的。和名「山吹草(ヤマブキソウ)」は、別名「ササヤブキ」とも書かれているように、花がバラ科のヤマブキに似ていることが名前の由来。

花期 5月上旬~中旬